

がん登録件数

以下のグラフは、2014年1月から12月までに、入院・外来を問わず当センターで「がん」と診断または治療、経過観察されたがん登録件数の内訳です。

次の腫瘍を、原発部位*をもとに1腫瘍につき1登録します。

- ①固形悪性腫瘍（胃がん、乳がんなど）
- ②造血系悪性腫瘍（白血病、悪性リンパ腫など）
- ③上皮内悪性腫瘍（臓器表面を覆う上皮にとどまるがんで、転移がないもの。子宮頸部上皮内がんなど）
- ④脳腫瘍**（悪性・良性・性状不詳***含む）

*原発部位での登録となるため、転移性腫瘍の治療を行った場合でも原発部位に含まれます。

例) 大腸がん肝転移→大腸がんで登録

乳がん脳転移→乳がんで登録

**脳腫瘍は良性、性状不詳であっても全身に影響を及ぼすことがあるため、登録対象となります。

***性状不詳とは、国際疾病分類腫瘍学第3版に定められた「良性又は悪性の別不詳、境界悪性、低悪性度、悪性の存在性不詳」を指します。

部位別

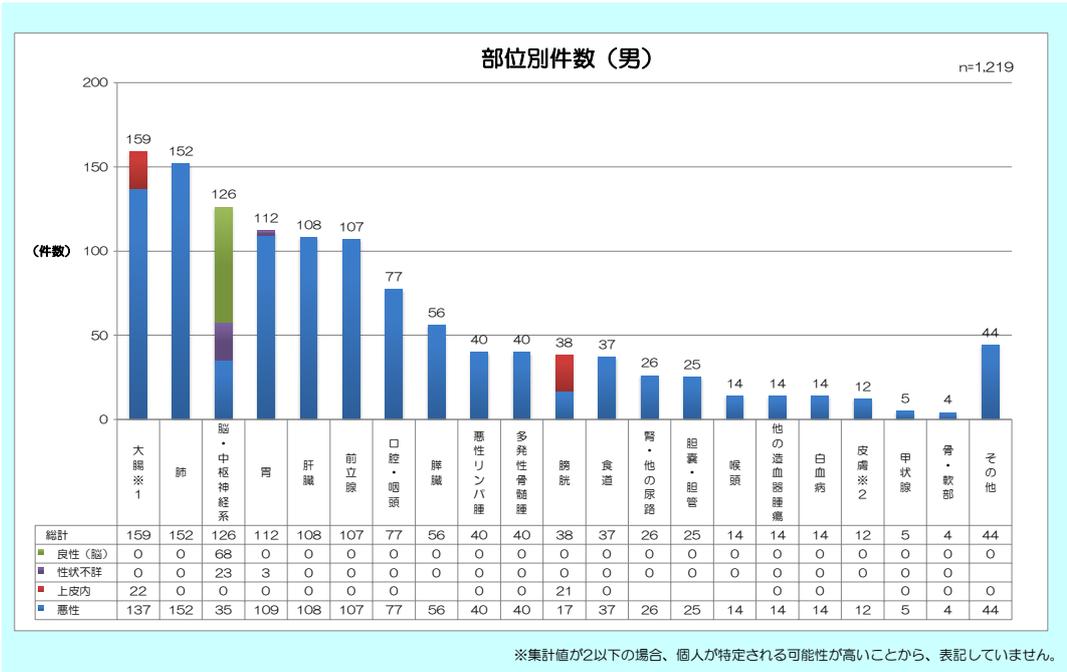
当センターのがん登録件数を部位別に示したものです。



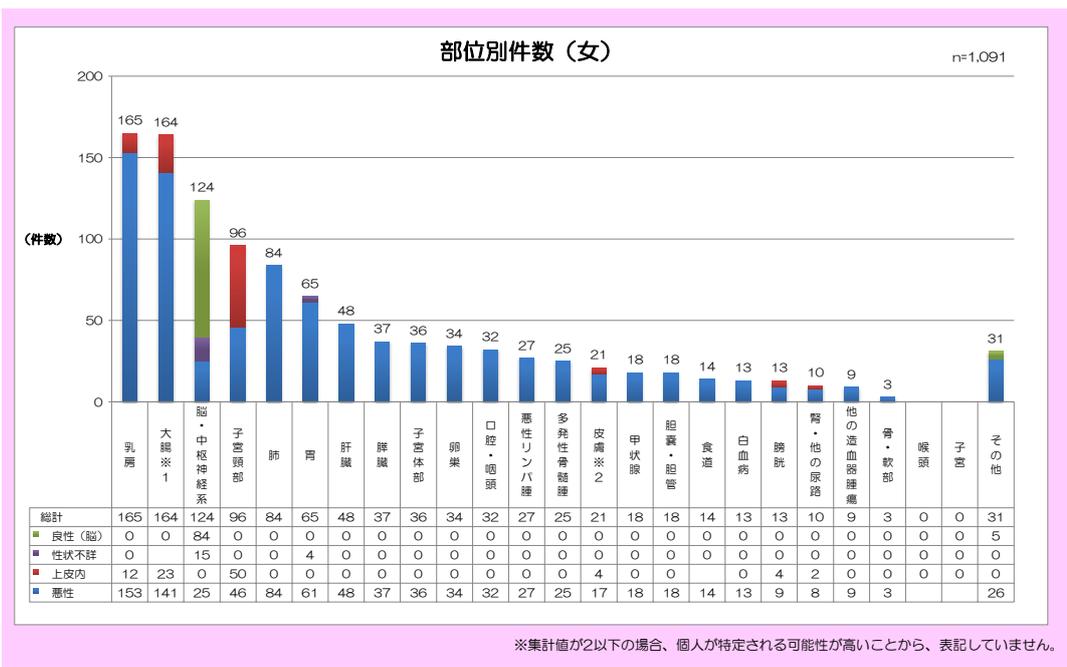
当センターでは日本人に多い5大がん（胃・大腸・肝臓・肺・乳）の登録割合が全体の45%を占めています。そのうち、大腸がん（直腸・結腸を含む）の登録件数が一番多く、上皮内がん（いわゆる早期がん）の割合が13%です。また他の4大がんをおさえ、脳・中枢神経系腫瘍の登録件数が二番目に多く、内訳は良性（良性髄膜腫、下垂体腺腫など）が61%、悪性（悪性髄膜腫、膠芽腫など）が24%、性状不詳（異型髄膜腫、頭蓋咽頭腫など）が15%です。その他には原発不明がん、副鼻腔がん、鼻腔及び中耳のがん、小腸がんなどが含まれます。

部位別・男女別

部位別のがん登録件数を、男女別に示したものです。



男性は、5大がんのうち乳がんを除く大腸がん・肺がん・胃がん・肝臓がんが上位を占めています。



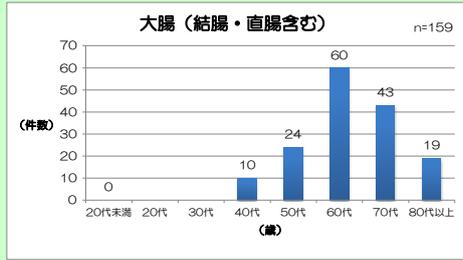
女性は乳がん・子宮頸がんなど女性特有のがんが上位に入っています。

上位5部位別・男女別・年齢別

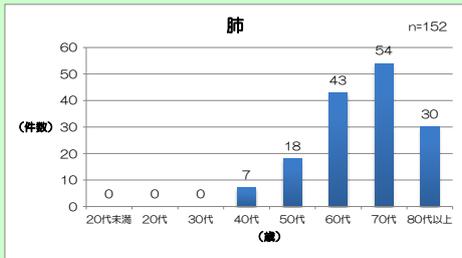
男女別登録件数の上位5部位について、年齢別に示したものです。

(男)

1.



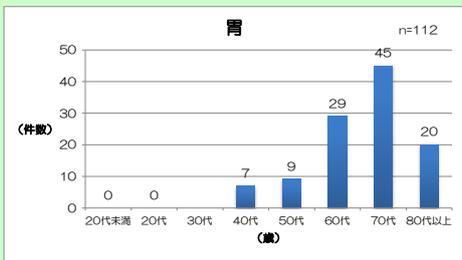
2.



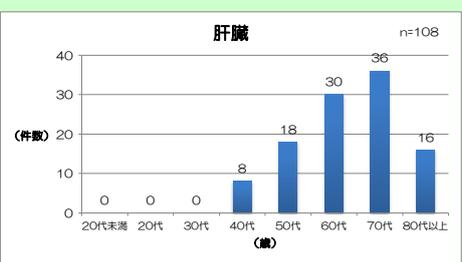
3.



4.

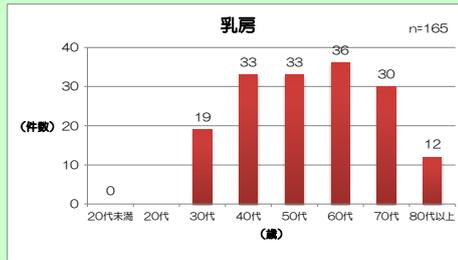


5.

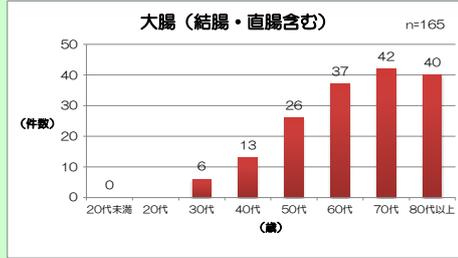


(女)

1.



2.



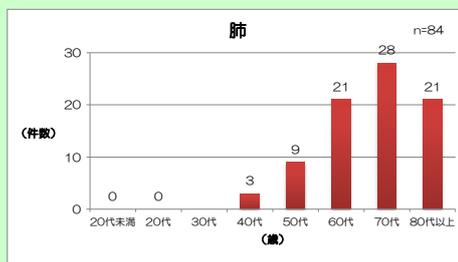
3.



4.



5.



※集計値が2以下の場合、個人が特定される可能性が高いことから、グラフに表記していません。

男性は60代～70代に罹患が多い傾向です。
 女性は乳がんが40代から罹患数が増加しています。子宮頸がんは30代に多く、40代以降は減少しています。

